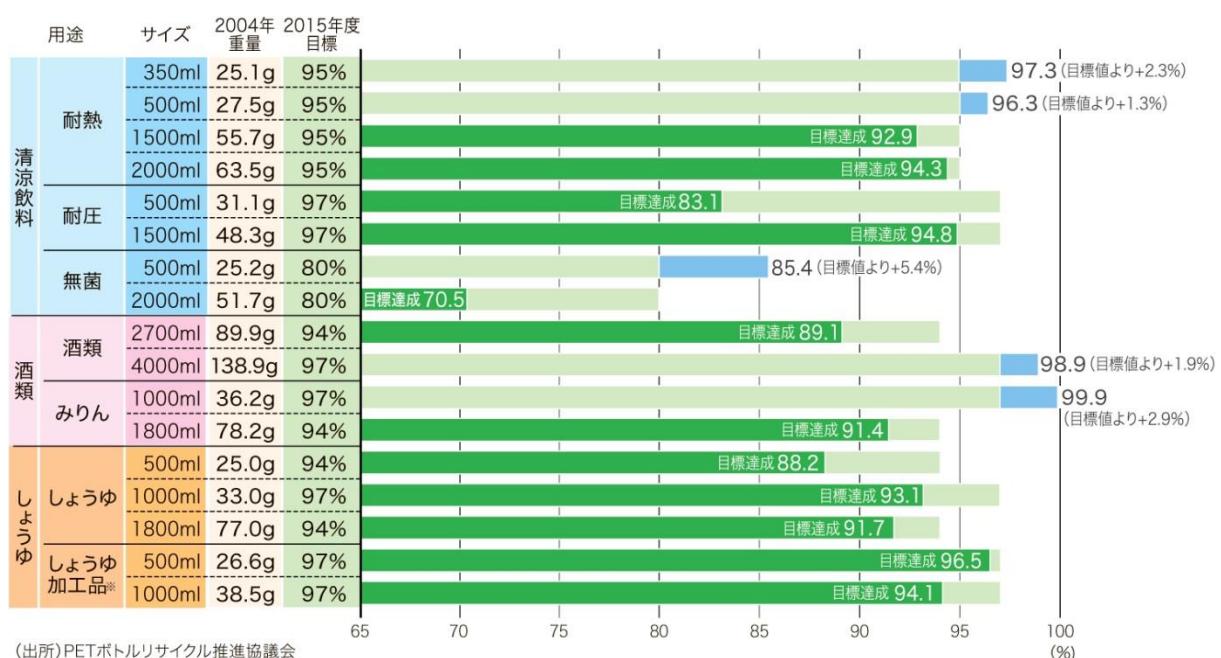


2. PET ボトルリサイクル推進協議会

■リデュースへの取り組み成果 2012 年度軽量化 13.0%

2012 年度のボトル軽量化は、主要 17 品種ごとに目標値を設定した中での 12 容器で、目標を達成する大きな成果が得られました。特に、耐圧 500ml で 15%、無菌 2L で 30%、酒類 2.7L で 11%、しょうゆ 500ml で 12% と軽量化が顕著でした。さらに、指定 PET ボトル全体では、販売ボトル種・数量増減などの効果で、2012 年度は、削減効果量が計画を 35 千トン上回る 85 千トン、軽量化率 13.0% を達成しました。



サイズ・用途別 PET ボトル軽量化目標と実績（2012 年度）



■高度な水平リサイクル ボトル to ボトル(B to B)への取り組み

PET ボトルはリユース容器には適しませんが、リサイクル工程の汚染除去能力を高めることにより、飲料食品用途の PET 樹脂に再生できます。使用済み PET ボトルを原料とし、再び PET ボトルへ水平循環するメカニカルリサイクル（物理的再生法）によるボトル to ボトル（以下、B to B）システムが、2011 年に、飲料メーカーとリサイクル事業者、そして、PET 推進協議会の 3 者の連携で本格的に始動しました。

このメカニカルリサイクル B to B への使用量は 2011 年度は 0.5 千トンでしたが、2012 年度 9.5 千トンと 19 倍に拡大しました。ケミカルリサイクルと合わせて、27.1 千トン（2011 年度、24.6 千トン）に進展しています。



PET ボトルから PET ボトルへの再生（B to B）の取り組み

■リサイクルへの取り組み成果 使用済み PET ボトルのフロー

＜事業系回収量 45 千トンの上積把握、リサイクル率 85.0% を達成＞

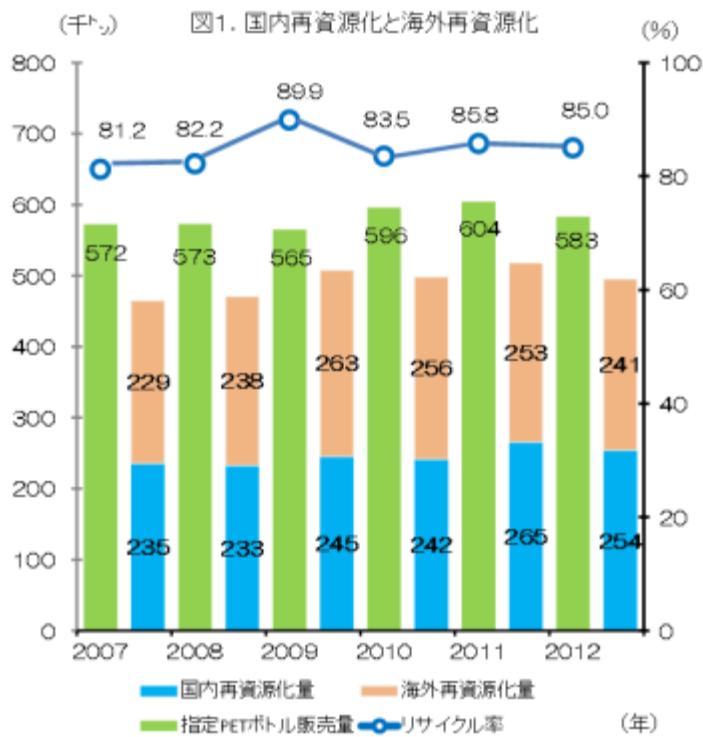
指定PETボトル販売量		583 (千トン)			
回収	(千トン)	輸出を含めた回収	(千トン)	リサイクル(再資源化)	再資源化率 (千トン)
市町村分別回収量	289	市町村分別収集国内処理	245	市町村系	80.4% 197
事業系回収量	228	事業系回収国内処理	73	事業系	78.2% 57
貿易統計 (PETくす)	424	貿易統計 海外処理	308	貿易統計 (輸出)	78.5% 241
		総回収量	625	リサイクル量	495
		総回収率 (%)	107%	再資源化率 (%)	79.2%
リサイクル(回収・再資源化)率 (%)					85.0%

＜使用済み PET ボトル回収量調査について＞

使用済み PET ボトルの回収量調査は、回収ルートの多様化により、2009 年、2010 年と事業系調査の捕捉精度が低下いたしました。

そこで昨年度に続き、使用済みPETボトルの取扱い事業者の調査ヒアリングを強化し、可能性のある事業者約200社へ新規にアンケート調査することができました。

昨年度の調査実績に45千トンを上積みして228千トンの事業系回収量を把握することができました。



■国内具体的製品カテゴリー別 再生フレーク使用量調査を実施

PETボトルが、国内にて具体的に何にどれ位の量がリサイクルされているのかという疑問に答えるべく、2008年度より繊維やシートといった用途からさらに具体的な製品カテゴリーに分けて調査を行っています。



自動車内装材（自動車関連）



防草シート（土木資材）



カーペット（インテリア）

表2. 具体的製品例と使用量

(単位:千トン)

製品例	使用量	構成比
食品用トレイ(卵パック、青果物トレイなど)	59.7	41.4%
プリスター・パック(日用品などプリスター包装用)	11.6	
食品用中仕切り(カップ麺トレイ、中仕切りなど)	2.3	
その他(工業用トレイ、文具・事務用品など)	11.9	
自動車・鉄道関連(天井材や床材など内装材、吸音材)	31.0	
インテリア・寝装具(カーペット類、カーテン、布団など)	24.3	
衣類(ユニフォーム、スポーツウェアなど)	11.8	
繊維(土木・建築資材(遮水・防草・吸音シートなど))	9.9	
身の回り品(エプロン、帽子、ネクタイ、作業手袋など)	3.0	
家庭用品(水切り袋、ワイパーなど)	2.1	
一般資材(テントのぼり、防球ネットなど)	0.1	
その他(糸、不織布など)	1.8	
	83.9	40.7%
PETボトル		
ケミカルリサイクルによる指定PETボトル(清涼飲料、酒類、しょうゆ、特定調味料)	17.6	13.1%
メカニカルリサイクルによる指定PETボトル(清涼飲料、酒類、しょうゆ、特定調味料)	9.5	
合計	27.1	
成形品		
土木・建築資材(排水管、排水栓、建築用材など)	2.6	4.6%
非食用PETボトル(トイレタリー用途など)	0.7	
一般資材(結束バンド、回収ボックス、搬送ケースなど)	0.6	
その他(文房具、事務用品、園芸用品、ごみ袋、衣料関連など)	5.5	
合計	9.4	4.6%
他		
その他(添加材、塗料用、フィルムなど)	0.3	0.2%
合計	206.2	100%

(出所) PETボトルリサイクル推進協議会

■広報活動の推進～啓発ツールの提供

PET ボトル再利用品は、繊維製品、文房具、化粧品ケース、自動車用カーペットマット、ラミネート包材、特殊合成紙等に広く使用されています。これらを「PET ボトル再利用カタログ」にまとめ、紹介しています。

最新の 3R 活動情報を紹介するために、年 2 回広報誌「RING」を発行しています。2012 年度は、Vol.30 は「再利用市場の拡大に向けて」、Vol.31 は「主管 3 省に関連業界への提言を聞く」を主題にご意見を伺いました



「PET ボトル再利用品カタログ」2013 年版 Vol.13



広報誌「RING Vol.30,31」

■アジア 3R 推進フォーラムへの参加

環境省が主催する「アジア 3R 推進フォーラム*1（第 4 回会合 2013 年 3 月 18 日～20 日ベトナム・ハノイ開催）」に参加し、「ごみから有価資源へ：日本の PET ボトルリサイクル事例」を発表した。日本では事業者のリサイクル適正向上などの取り組みに加え、容器包装リサイクル法施行により「市民が分別、市町村が分別収集、事業者が再商品化する」という役割分担を行い 3 者の主体間連携を強化し、高品質な PET ボトルリサイクル品や高いリサイクル率を達成できることをアピールしました。

*1 アジア 3R 推進フォーラム：日本の提唱により、アジア各国における 3R の推進による循環型社会の構築に向け、アジア各 government、国際機関、援助機関、民間セクター、研究機関、NGO などを含む幅広い関係者の協力の基盤となるものとして、2009 年 11 月に設立。



アジア 3R 推進フォーラム第 4 回会合（2013 年 3 月 18 日～20 日）